



「全国学力・学習状況調査」の結果より【「教科に関する調査」編】

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的として、全国の小学6年生を対象に実施されています。

今年度も、4月23日（木）に国語科・算数科の「教科に関する調査」と「児童質問調査」が行われました。

大阪市の小学校全体の傾向としては、市教育委員会の支援のもと、各校での学力向上に向けたこれまでの取組みの成果が表れ、国語科・算数科とも平均正答率の全国平均との差が小さくなり、全国水準にほぼ並ぶところまで向上しています。

本校でも、毎年調査結果の分析を行い、成果や今後取り組むべき課題について明らかにしています。本校の今年度の結果概要は次のとおりです。



	国語		算数	
	平均正答率 (%)	平均無解答率 (%)	平均正答率 (%)	平均無解答率 (%)
本校	68	0.7	62	0.4
大阪市	59	2.8	56	2.8
全国	60.9	3.4	56.4	3.2

今年度の平均正答率は、国語科 68%、算数科 62%でした。全国平均と比べると、国語科は 7.1 ポイント、算数科は 5.6 ポイント上回っています。特に、問題に対して解答を書かずに終わる「無解答率」は、国語科 0.7%、算数科 0.8%と低く、全国平均を大きく下回っています。無回答率が低いということは、問題文を最後まで読み、あきらめずに解答しようとする子どもたちの姿勢が表れています。

国語					算数				
学習指導要領の内容	対象 設問数	平均正答率 (%)			学習指導要領の 領域	対象 設問数	平均正答率 (%)		
		本校	大阪市	全国			本校	大阪市	全国
(1) 言葉の特徴や 使い方に 関する事項	4	69.4	62.5	66.8	A 数と計算	8	68.3	61.2	61.1
(2) 情報の扱い方に 関する事項	2	70.4	53.2	52.3	B 図形	4	59.5	54.5	55.3
(3) 我が国の言語文化 に関する事項	0	—	—	—	C 測定	1	85.5	77.5	78.1
A 話すこと・ 聞くこと	3	69.3	63.1	65.8	C 変化と関係	3	50.4	40.3	41.1
B 書くこと	2	54.6	44.2	45.7	D データの活用	4	55.6	48.8	48.6
C 読むこと	2	73.7	66.0	65.9					

【国語科】 ～「読む力」と「情報を整理する力」が強み～

今回の調査では、文章を読んで内容を捉える力や、情報を整理して考える力が身に付いていることが分かりました。特に、文章の構成や内容を捉えたり、必要な情報を見つけて整理したりすることに強みが見られます。また、文章を読んで分かったことを自分の経験と結び付けて考える力も育っています。これまでの授業で大切にしてきた「読む」「比べる」「考える」といった学習の積み重ねが、子どもたちの力につながっていると考えています。

一方で、今後さらに伸ばしていきたいのは、必要な情報を活用し、自分の考えを文章にまとめて伝える力です。文章の内容を理解したり、情報を見付けたりすることに比べ、自分の考えを理由や根拠と結び付け、相手に分かりやすく文章で表現することには課題が見られました。

学校では、これまで培ってきた「読む力」や「情報を整理する力」を生かしながら、「分かる」から「自分の考えを表現する」へと学びをつなげる授業を大切にしていきます。



国語科

よくできたところ

- 文章を読んで、内容をつかむ力
- 必要な情報を見つけ、整理する力
- 自分の経験と結び付けて考える力

これから伸ばしたいところ

必要な情報を使って、自分の考えをわかりやすく書く力

【算数科】 ～「基礎的な力」と「筋道を立てて考える力」が強み～

今回の調査では、基礎的な知識や技能を生かして問題を解決する力が身に付いていることが分かりました。特に、数の仕組みや計算に関する問題では、正しく理解している子どもが多く見られました。また、日常生活に関わる場面から必要な情報を読み取り、数量の関係を考え、答えを求める問題でも、力を発揮しています。

一方で、今後さらに伸ばしていきたいのは、数量の関係やデータを捉え、自分の考えを筋道立てて説明する力です。特に、表や図から必要な情報を読み取ったり、割合や分数の意味を捉えたりする場面で、今後さらに伸ばしていきたい点が見られました。課題が見られました。また、答えを求めるだけでなく、「なぜその答えになるのか」を数や言葉を使って説明することにも課題があります。

学校では、これまで培ってきた計算などの基礎的な力を土台に、「答えを出す」だけでなく、「なぜそう考えたのかを説明する」学習を大切にしていきます。図や表、式などを関連付けながら考えを深め、日常生活の中で算数を活用する力へとつなげていきます。



算数科

よくできたところ

- 計算などの基礎的な力
- 場面を読み取り、考えて解く力
- 筋道を立てて考える力

これから伸ばしたいところ

情報を整理し、考えを説明する力

■これからの学習で大切にしたいこと

全国学力・学習状況調査の問題には、単純に知識を答えるだけではなく、文章や図、表などから必要な情報を読み取り、それらをもとに考え、自分の考えを言葉で説明する問題が多く含まれています。そのため、これからの学習では、知識や技能を身に付けることに加えて、情報を読み取り、比較したり、関連付けたりしながら考える力、そして自分の考えを相手に分かるように表現する力がますます重要になります。

今回の調査結果は、子どもたちの学力のすべてを表すものではありません。しかし、日々の授業を振り返り、今後の教育活動をよりよいものにしていくための大切な資料となります。

本校では、今回の結果を生かしながら、国語科や算数科だけでなく、さまざまな教科の学習を通して、「情報を読み取り、自分で考え、友達と学び合い、自分の考えを表現する力」を育てていきたいと考えています。ご家庭でも、子どもたちが日常生活の中で「なぜだろう」「どうしてだろう」と考えたり、自分の考えを家族に話したりする機会を大切にいただければと思います。